

株式会社 ウッドワン

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

フリーダイヤル

☎ 0120-813-331

[受付時間] 平日8:30～17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

IKHLF57-T
IKF-TC/TN IHF-TC/TN
ILF-TC/TN

施工業者様用

〈施工説明書〉

片引き戸・引き違い戸・引き分け戸・ 4枚引き違い戸(上吊り)専用枠材

ピノアース 固定枠155mm幅・170mm幅

[標準] 両側ソフトクローズ

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。

・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。

インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。

・ビスはビス穴に取り付ける。

ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・躯体に欠点がないことを確認する。

枠材固定のビスがあたる部分に筋や割れなどの欠点がある場合、枠材が確実に固定されず、はずれてしまう原因となり危険ですので、強固に固定できるよう下穴や下地材を入れてください。

・補強の飼木(現場調達)を入れる。

ソフトクローズ仕様の時は、トリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を必ず入れてください。飼木で補強をしないと、鴨居が破損してしまうおそれがあります。

・同梱の金具を使用する。

本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

お願い

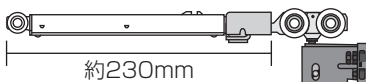
- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

梱包内訳表

※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部材があります。

枠本体セット						
部材名		鴨居 (クロス下地)	鴨居 (クロス下地)	堅枠 (戸先側)	堅枠 (戸尻側)	中方立 上吊 レール
入 数	片引き戸	1本	—	1本	1本	1本
	引き違い戸	—	1本	1本	—	2本
	引き分け戸	1本	—	—	1本	1本
	4枚引き違い戸	—	1本	1本	—	2本
備 考 (部材品番等)		—	—	—	—	—

① ショートストローククローザー本体



② ロングストローククローザー本体



ビスセット(枠本体セットに同梱)									
			袋の色	赤	赤	赤	黄	黄	透明
部材名			木ダボ	組み立て ビス	下枠固定 ビス	躯体接合 金具ビス	六角レンチ	クッション キャップ	
			 6mm 35mm	 62mm φ3.8mm	 25mm φ3.5mm	 47mm φ3.8mm	 7mm L50mm	 φ16	
セット品番									
入 数	片引き戸	ZYMK01-□	2本	6本	5本	10本	1本	8個	
	引き違い戸	ZYMH01-□	2本	4本	9本	11本	1本	8個	
	引き分け戸	ZYML01-□	2本	8本	9本	12本	1本	8個	
	4枚引き違い戸	ZYMH01-□	2本	4本	9本	11本	1本	8個	
備 考 (部材品番等)			—	—	使用しません	枠と躯体の 固定に 使用できます。	使用しません	—	

金具セット(枠本体セットに同梱)【標準:両側ソフトクローズ】												
部材名			セット品番	振止め 金具 (床付用)	戸じゃくり キャップ	引き分け ストッパー	上レール 取り付け ビス (皿ビス)	ソフト クローザー ロング (吊車セット)	ソフト クローザー ショート (吊車セット)	トリガー セット ロング用 (ビス2本セット)	トリガー セット ショート用	トリガー 取り付け 治具
												
入 数	片引き戸	1190	ZYTKS4	1個	2個	—	6本	—	1本	—	1個	1個
			ZYSRS1-7	—	—	—	—	—	1本	—	1個	1個
		1450	ZYJKL4	1個	2個	—	6本	1本	—	1個	—	1個
			ZYSRS1-7	—	—	—	—	—	1本	—	1個	1個
		1644	ZYJKL4	1個	2個	—	6本	1本	—	1個	—	1個
			ZYSRL2-7	—	—	—	—	1本	—	1個	—	1個
		1824	ZYTKL4	1個	2個	—	6本	1本	—	1個	—	1個
			ZYSRL2-7	—	—	—	—	1本	—	1個	—	1個
	引き違い戸	1644・1824	ZYJHL4	2個	2個	—	12本	2本	—	2個	—	1個
			ZYSRL2-7	—	—	—	—	2本	—	2個	—	1個
	引き分け戸	3234	ZYJLL8	2個	2個	1個	11本	2本	—	2個	—	1個
			ZYSRL2-7	—	—	—	—	2本	—	2個	—	1個
	4枚引き違い戸	3234	ZYJIL8	4個	2個	2個	22本	4本	—	4個	—	1個
			ZYSRL2-7					4本	—	4個	—	1個
備 考 (部材品番等)				ZY3334	ZYTNC01	ZY3337	ZYTA01	—	—	ZYTL12	ZYTS12	ZYTG11

片引き戸 施工…5ページに進んでください。

引き違い戸 施工…9ページに進んでください。

引き分け戸 施工…13ページに進んでください。

4枚引き違い戸 施工…17ページに進んでください。

引き手方向の確認

片引き戸には、引き手方向によって左右の区別がありますので、ご確認のうえ施工してください。

※片引き戸の場合のみ。

右引き

左引き

ソフトクローザー一覧表

■ドアのサイズによってソフトクローザー金具のサイズが異なります。ご注意ください。

①ドアサイズ580～712の場合

スライダー Short+Short



②ドアサイズ713～809の場合

スライダー Long+Short



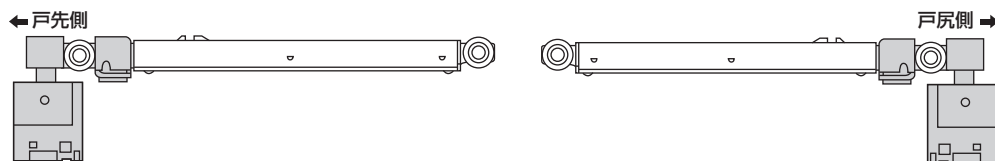
③ドアサイズ810～900の場合

スライダー Long+Long

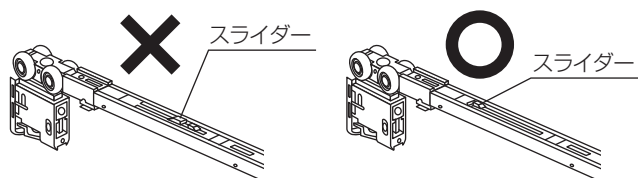


■クローザー本体の挿入向きをご確認ください。(下記図は下荷重の場合)

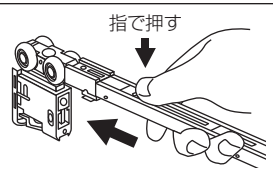
両側ソフトクローザーの場合



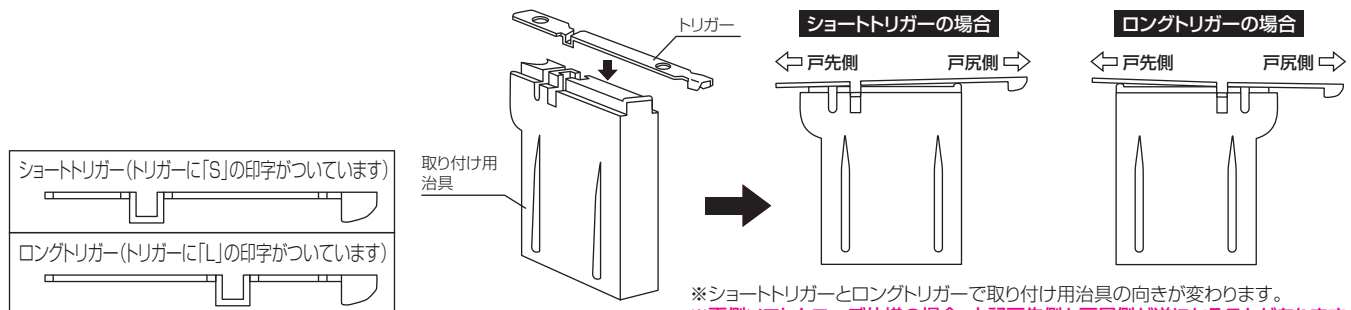
■挿入前にスライダーの位置を確認してください。(下記図は上吊りの場合)



スライダーが正しい位置にない場合
スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。



■トリガーの取り付け向きに注意してください。(トリガーはロング用とショート用の2種類あります)

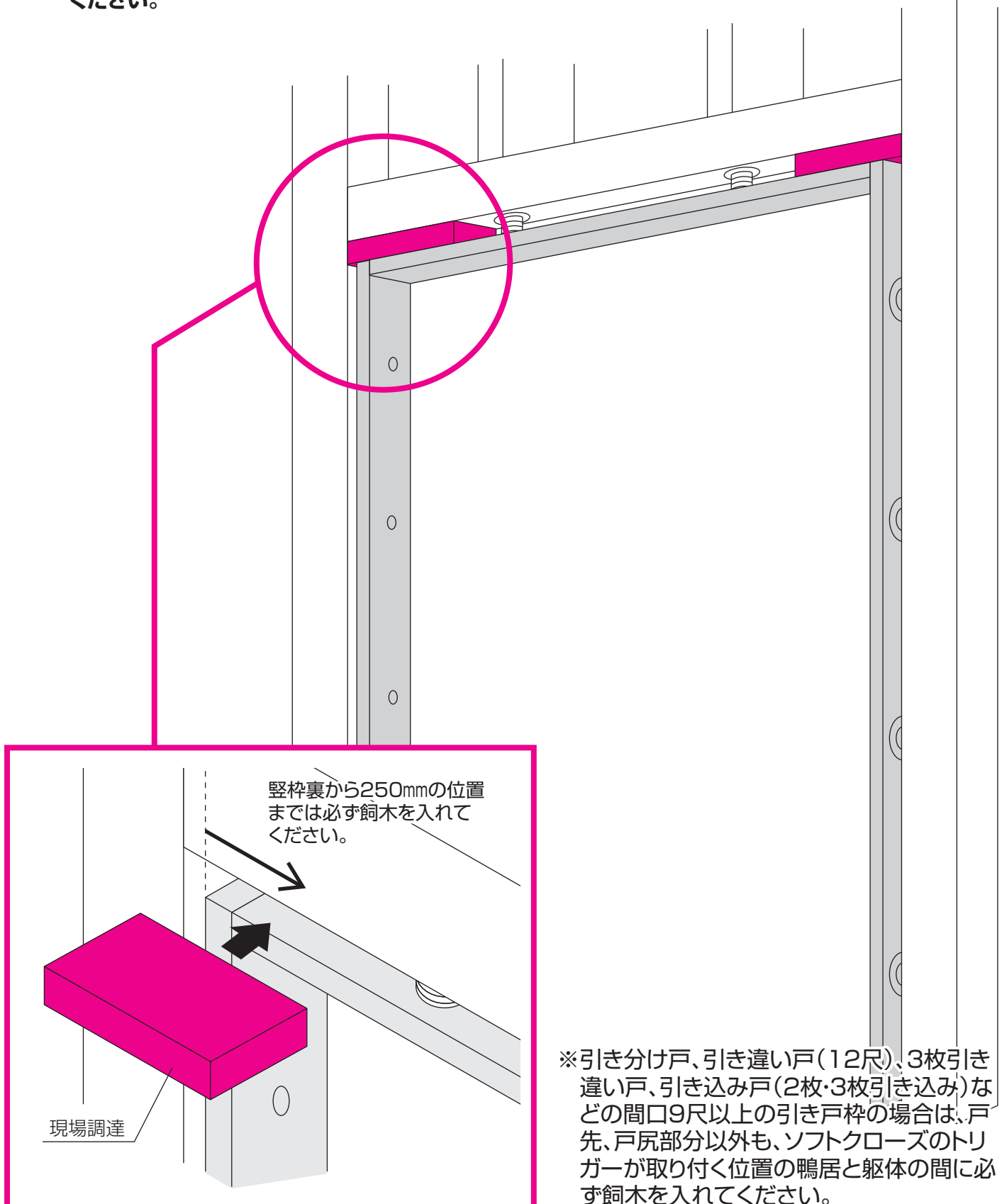


※ショートトリガーとロングトリガーで取り付け用治具の向きが変わります。
※両側ソフトクローザー仕様の場合、上記戸先側と戸尻側が逆になることがあります。

必ず行ってください!!

ソフトクローズ仕様の場合、鴨居に負荷がかかりますので、トリガーの取り付け位置の鴨居裏には必ず補強用の飼木(現場調達)を入れてください。

※将来ソフトクローズ仕様へ変更する可能性がある場合にも、あらかじめ補強用の飼木を入れておいてください。



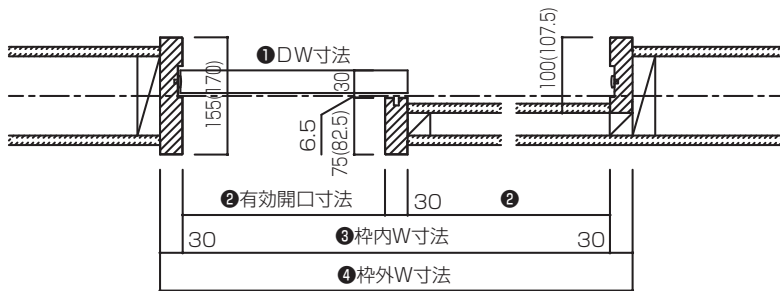
【片引き戸】納まり図

下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

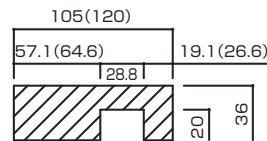
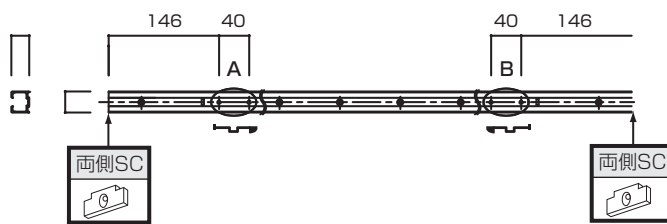
■ 枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)

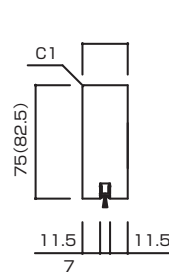


① DW寸法	900	810	713	583
② 有効開口寸法	867	777	680	550
③ 枠内W寸法	1,764	1,584	1,390	1,130
④ 枠外W寸法	1,824	1,644	1,450	1,190

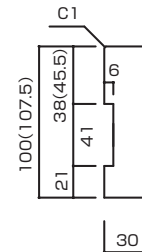
■ レール詳細図



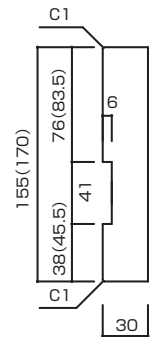
鴨居(クロス巻込枠)



中方立



縦枠(戸尻側)



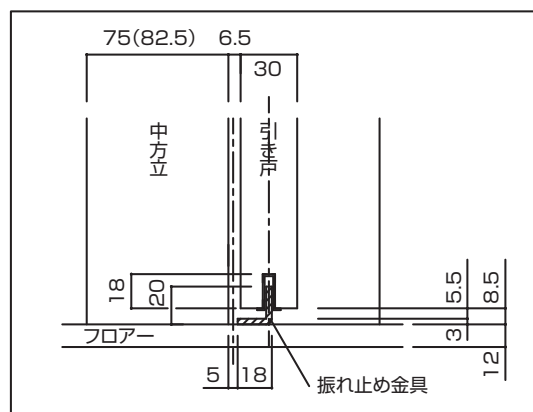
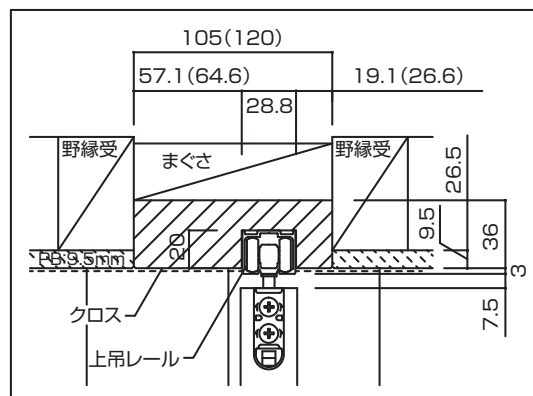
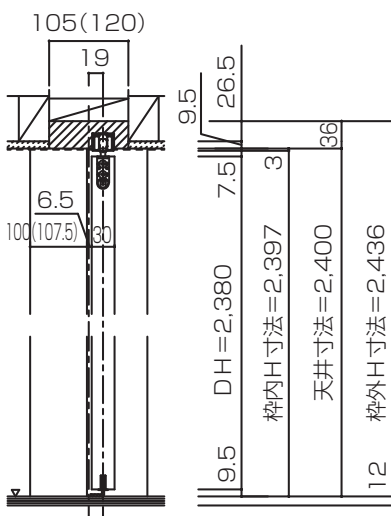
縦枠(戸先側)

■ トリガー取り付け位置

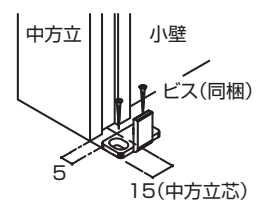


縦断面図

(単位:mm)



振れ止め金具(床付け用)の取り付け位置



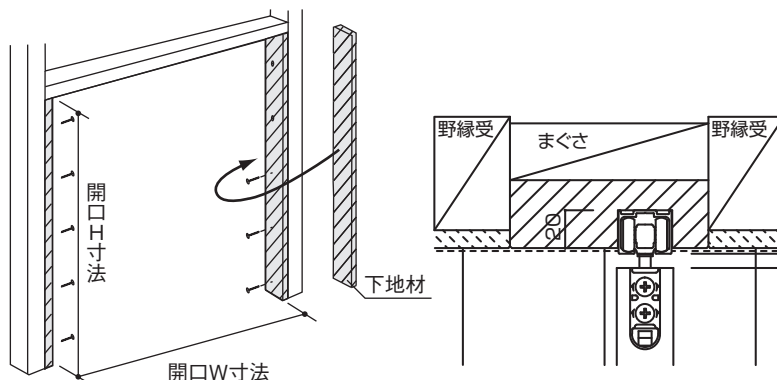
※図は右引きRLの場合

施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を
取り付け、納まり図
参照の上、枠外寸法に
見合った開口を
設けてください。



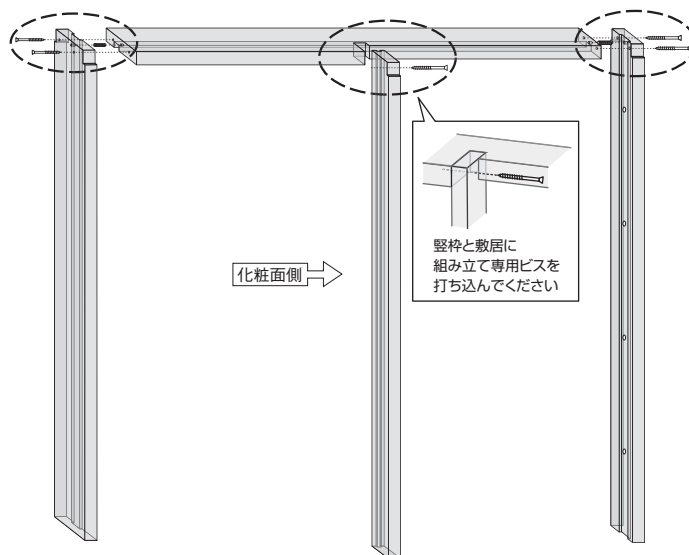
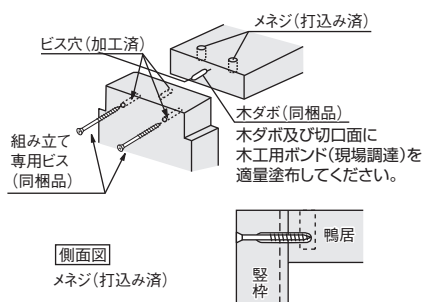
⚠ 注意

扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

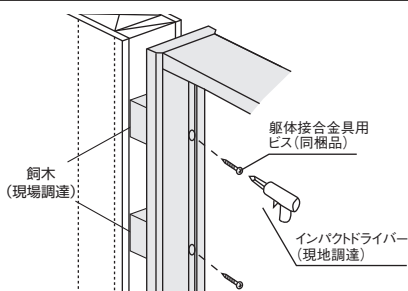
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



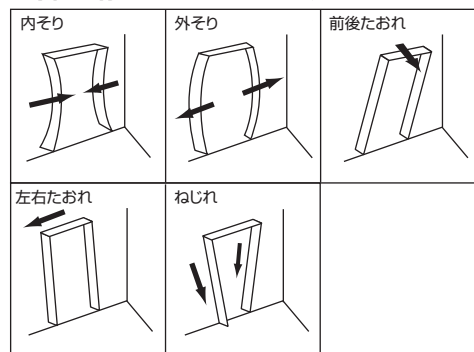
3 枠材の固定と建て付け調整

3方に組んだ枠材を開口部にセットしてください。

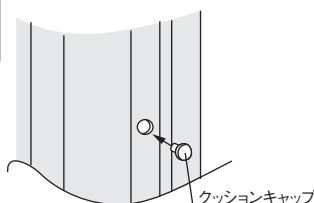
開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ねじれを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビスを縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。鴨居の固定は任意の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。



※ 下記の様なことがないようご注意ください。

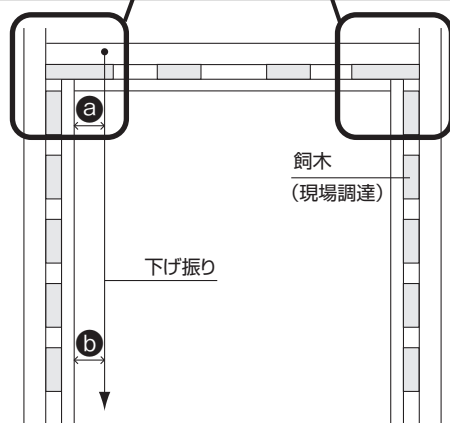


縦枠を取り付け後、
ビス穴にクッション
キャップを取り付けます。



⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。



水準器などを使用し、a=bとなるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。

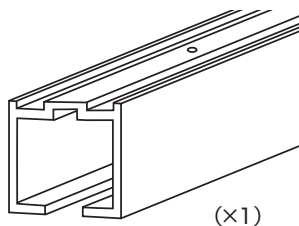
4 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■鴨居レールの取り付け

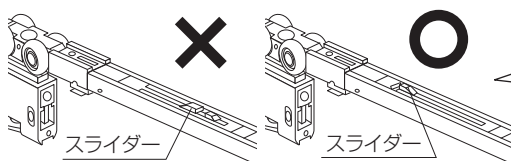
■吊車の挿入

鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。



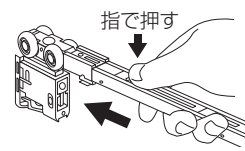
⚠ 注意

挿入前にスライダーの位置を確認してください。



スライダーが正しい位置にない場合

スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。

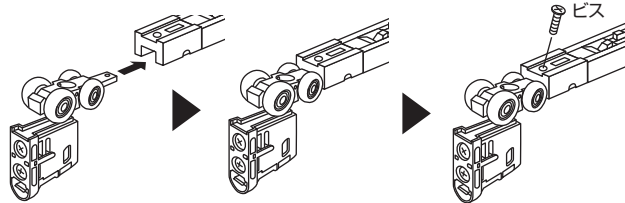


両側ソフトクローズ 仕様

〈ソフトクローズ仕様の場合のみ〉

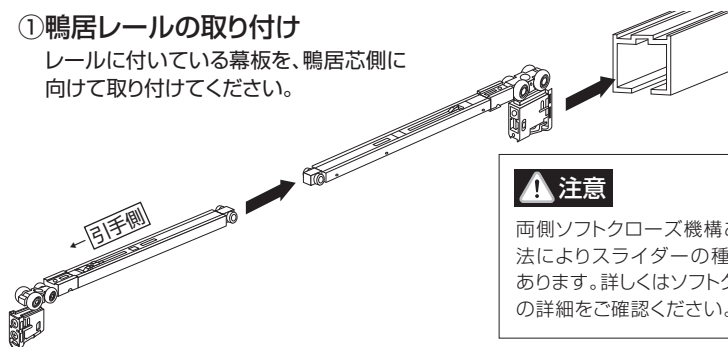
■クローザー本体と上部ガイドの取り付け

上部吊車をソフトクローズのスライダー先端の溝にはめ込み専用のビスで取り付けてください。



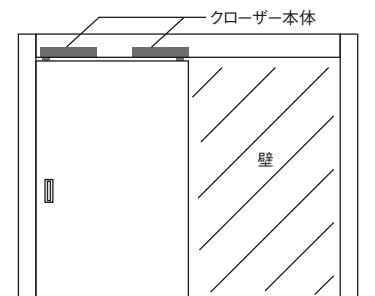
①鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。



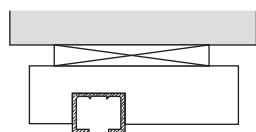
⚠ 注意

両側ソフトクローズ機構ありの場合、商品寸法によりスライダーの種類が異なる場合があります。詳しくはソフトクローズ金具に同梱の詳細をご確認ください。



②クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。



トリガー取付用治具使用方法

1

トリガー(引き金)

取り付け用治具

トリガー(引き金)を取付治具にセットする。

ショートトリガーとロングトリガーで取り付け用治具の向きが変わります。

ショートトリガーの場合

←戸先側(引手側) 戸尻側→

※トリガー(引き金)に「S」の印字が付いています。

ロングトリガーの場合

←戸先側(引手側) 戸尻側→

※トリガー(引き金)に「L」の印字が付いています。

2

専用ネジで鴨居

レールに取り付ける。

3

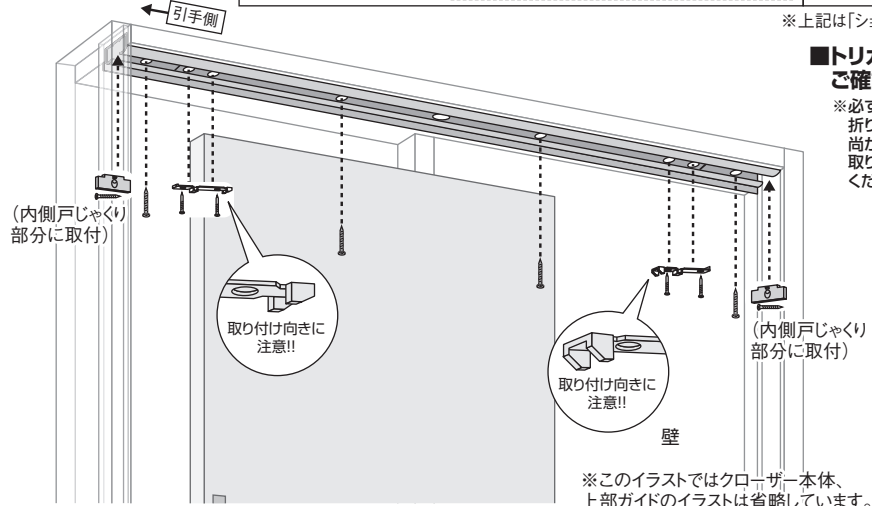
引き抜いて

取付治具を外す。

※上記は「ショートトリガー」の場合のイラストになります。

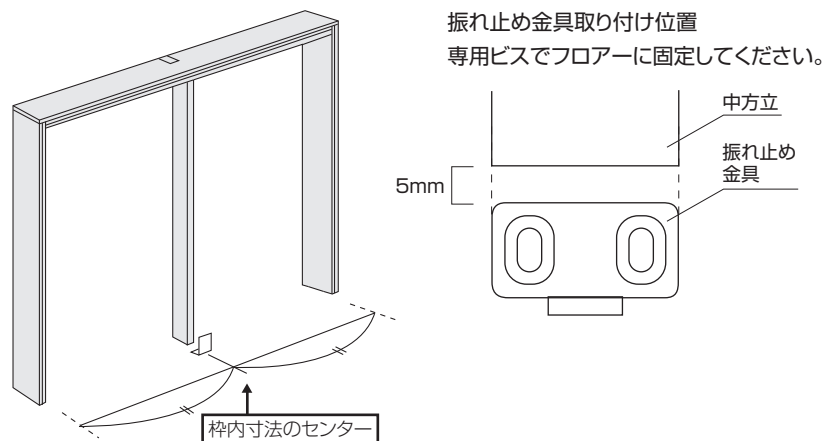
■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。



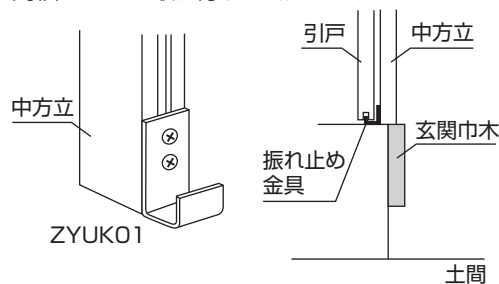
※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

5 振れ止め金具の取り付け



上吊り中方立取り付け用振れ止め金具 (別売品)の場合

中方立の下端に合わせて振れ止め金具を
同梱のビスで取り付けてください。



施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないよう
にしてください。

お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてくださ
い。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

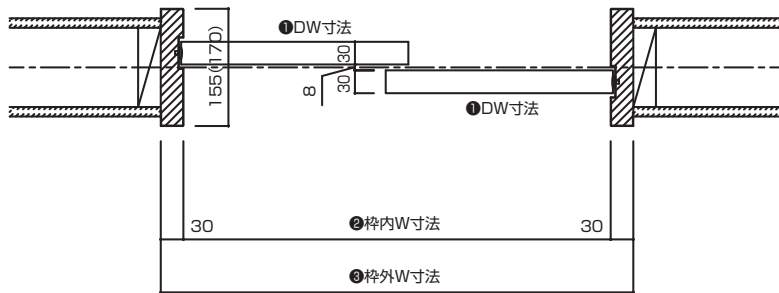
【引き違い戸】納まり図

下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

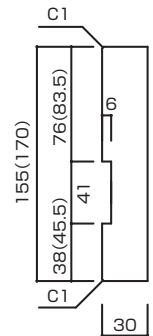
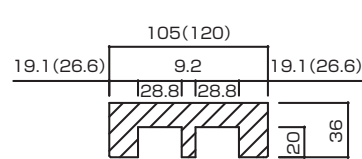
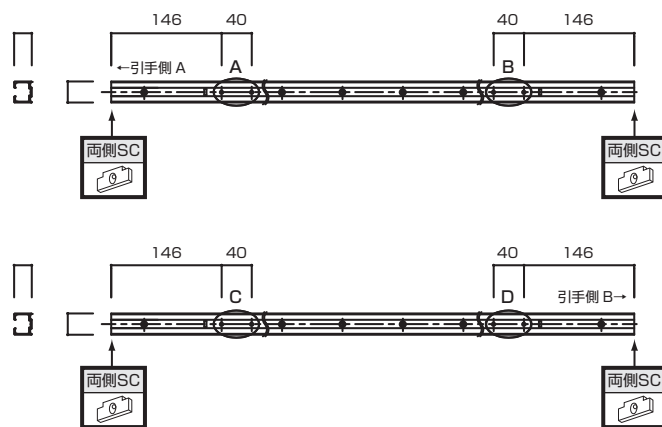
(単位:mm)

■ 枠製品寸法と納まり図



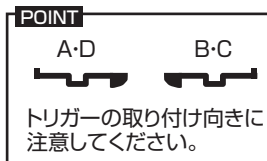
① DW寸法	900	810
② 枠内W寸法	1,764	1,584
③ 枠外W寸法	1,824	1,644

■ レール詳細図



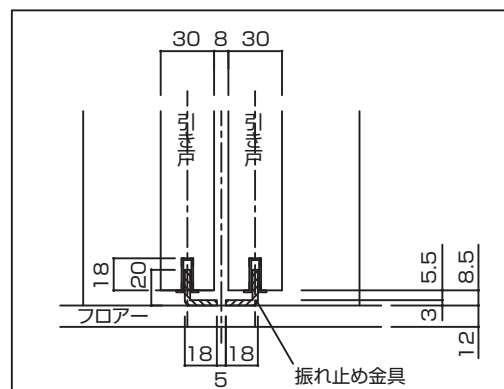
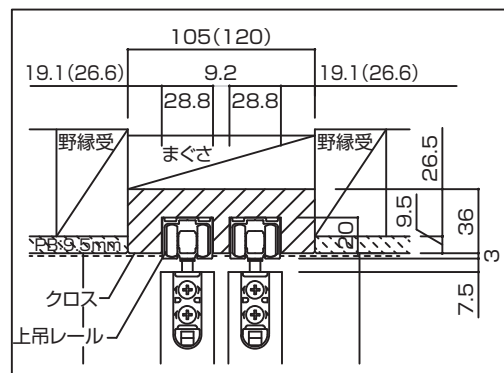
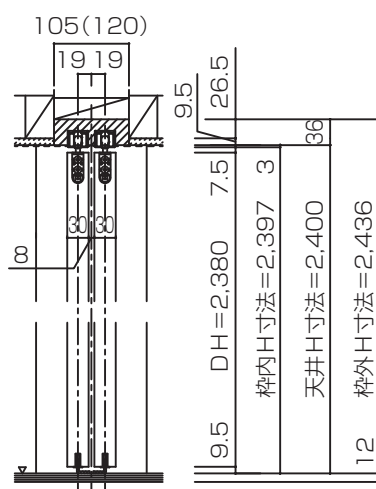
■ トリガー取り付け位置

縦枠(戸先側)

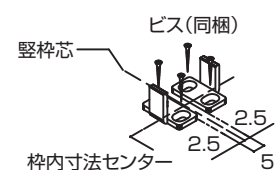


縦断面図

(単位:mm)



振れ止め金具(床付け用)の取り付け位置

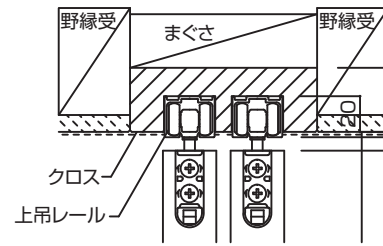
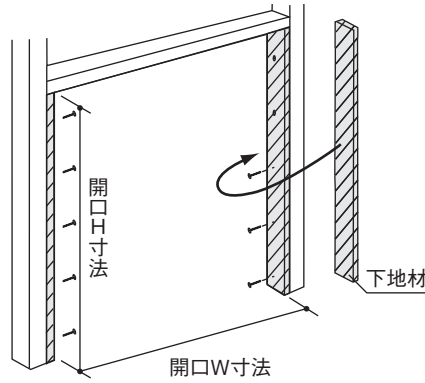


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。

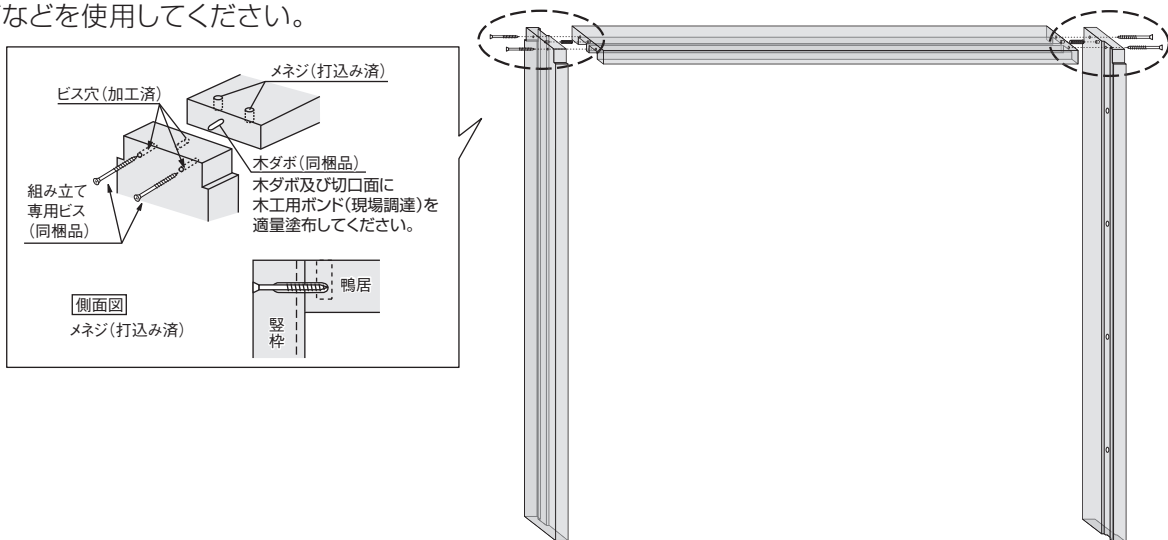


⚠ 注意 扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

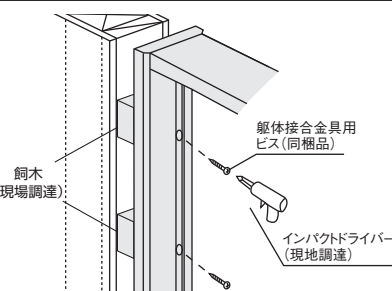
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



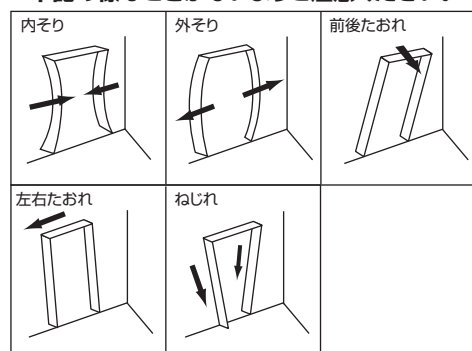
3 枠材の固定と建て付け調整

3方に組んだ枠材を開口部にセットしてください。

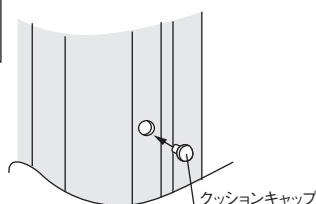
開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ねじれを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビスを縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。鴨居の固定は任意の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。



※ 下記の様なことがないようにご注意ください。

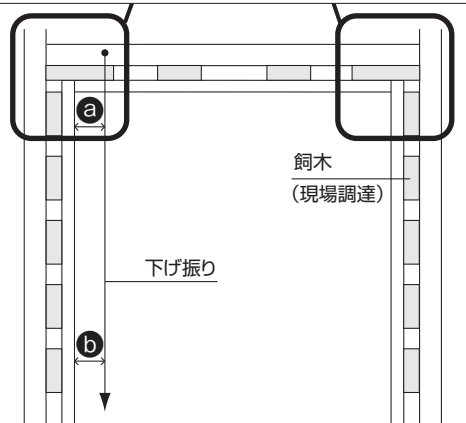


縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。



⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

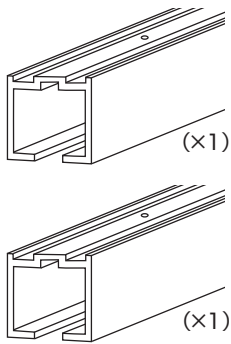


水準器などを使用し、 $a=b$ となるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。

4 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■鴨居レールの取り付け

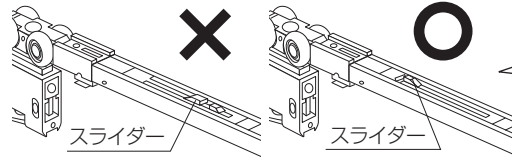


■吊車の挿入

鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。

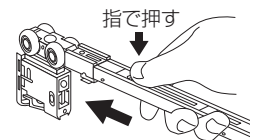
⚠ 注意

挿入前にスライダーの位置を確認してください。



スライダーが正しい位置にない場合

スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。

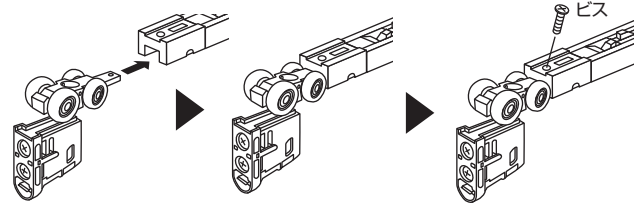


両側ソフトクローズ 仕様

〈ソフトクローズ仕様の場合のみ〉

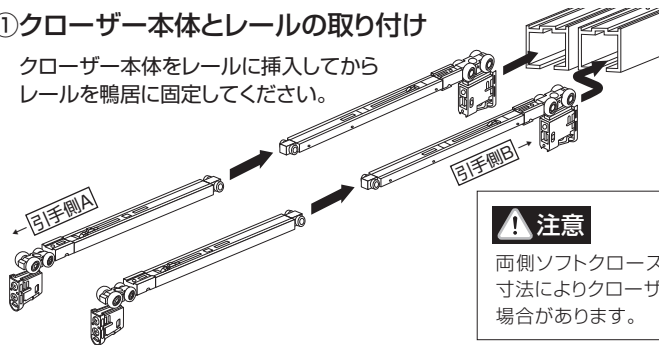
■クローザー本体と上部ガイドの取り付け

上部吊り車をソフトクローズのスライダー先端の溝にはめ込み専用のビスで取り付けてください。



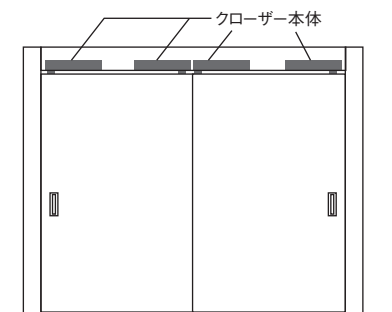
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。



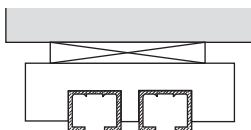
⚠ 注意

両側ソフトクローズ機構ありの場合、商品寸法によりクローザー本体の長さが異なる場合があります。

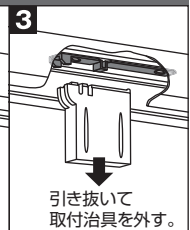
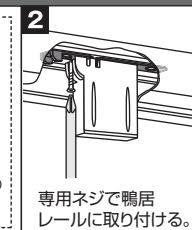
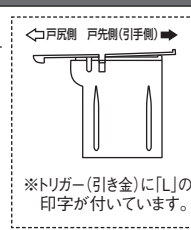


②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。引き違い戸では片方のレールには幕板はつきません。

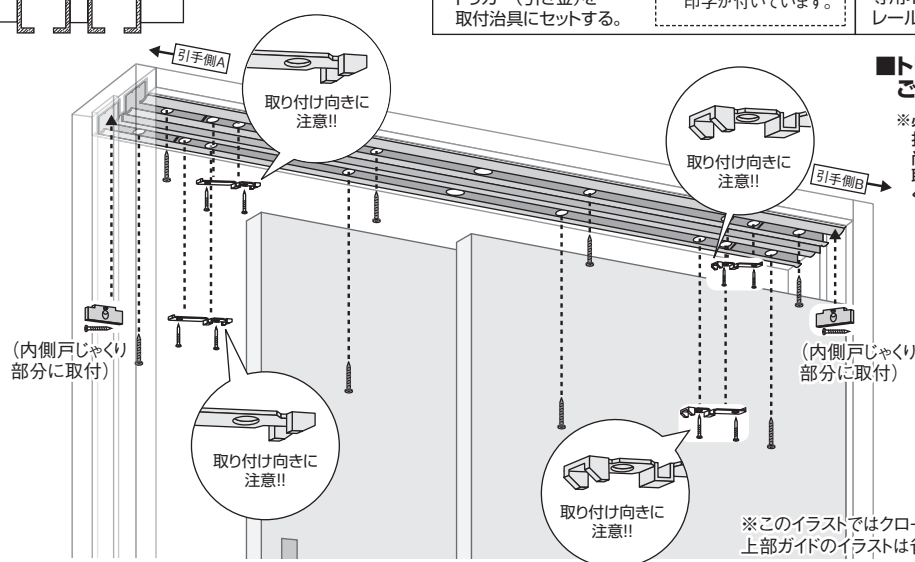


トリガー取付用治具使用方法



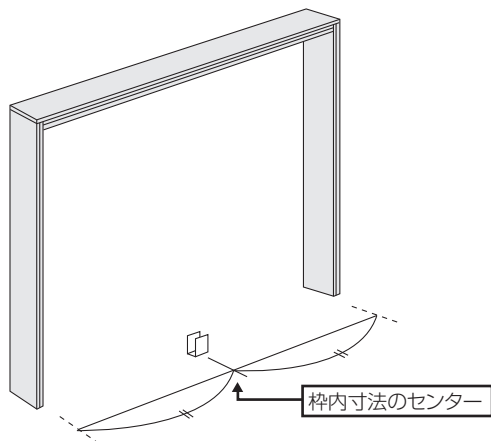
■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。

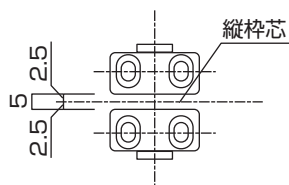


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

5 振れ止め金具の取り付け



振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローアに
固定してください。



施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

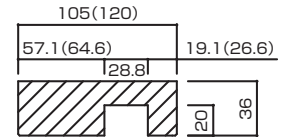
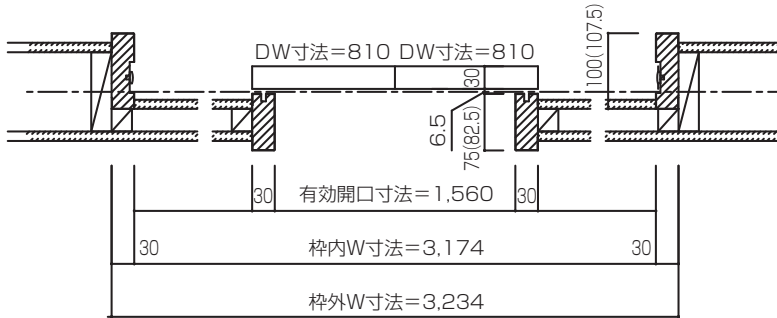
【引き分け戸】納まり図

下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

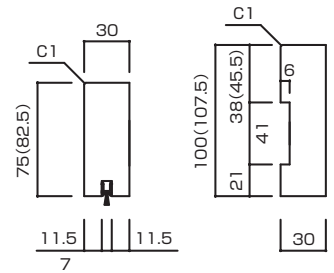
横断面図

■ 枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)



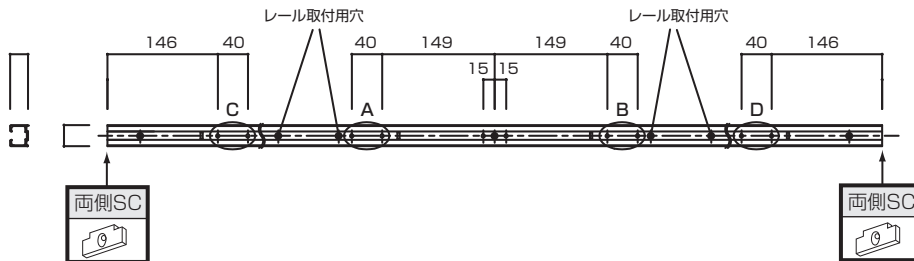
鴨居(クロス巻込枠)



中方立

縦枠(戸尻側)

■ レール詳細図



■ トリガー取り付け位置

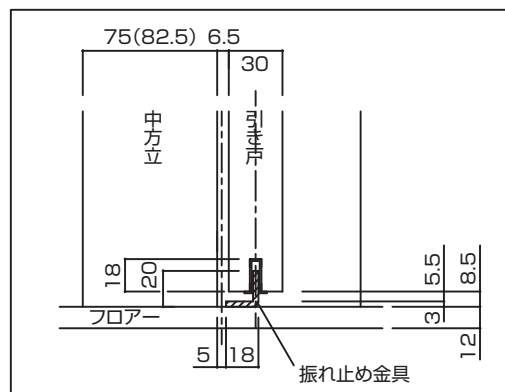
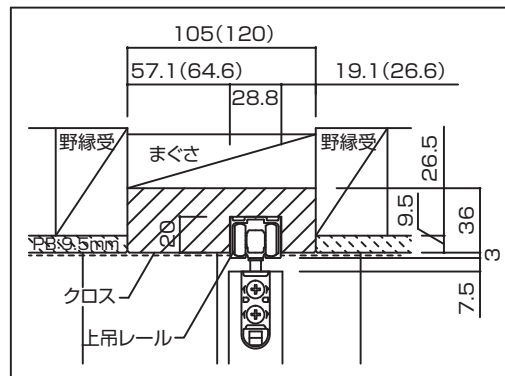
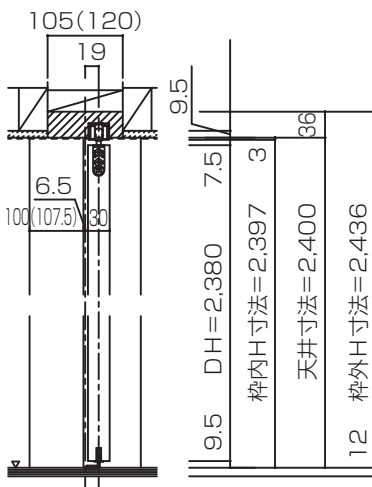
POINT



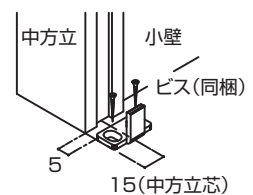
トリガーの取り付け向きに
注意してください。

縦断面図

(単位:mm)



振れ止め金具(床付け用)の取り付け位置



※図は右引きRLの場合

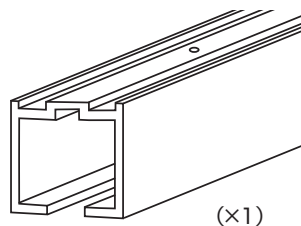
4 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■鴨居レールの取り付け

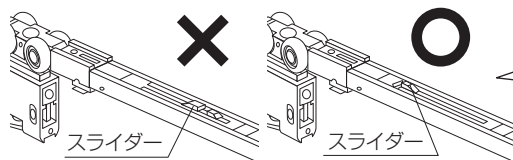
■吊車の挿入

鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。



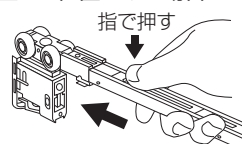
⚠ 注意

挿入前にスライダーの位置を確認してください。



スライダーが正しい位置にない場合

スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。

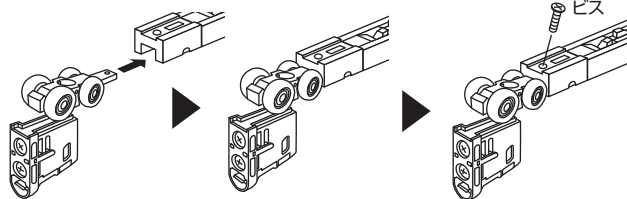


両側ソフトクローズ 仕様

〈ソフトクローズ仕様の場合のみ〉

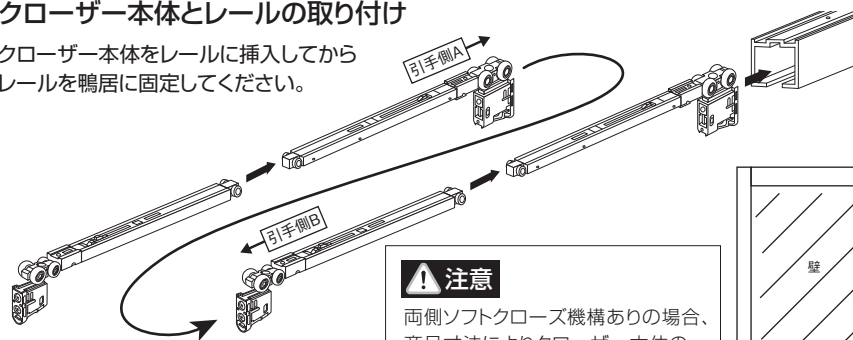
■クローザー本体と上部ガイドの取り付け

上部吊り車をソフトクローズのスライダー先端の溝にはめ込み専用のビスで取り付けてください。



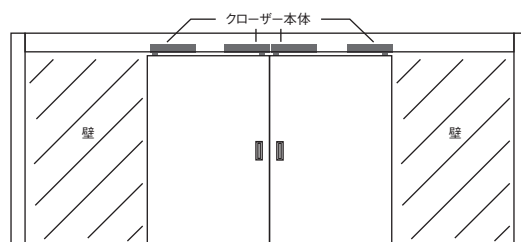
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。



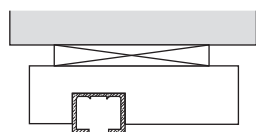
⚠ 注意

両側ソフトクローズ機構ありの場合、商品寸法によりクローザー本体の長さが異なる場合があります。



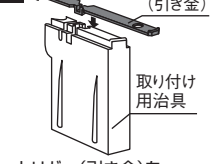
②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。



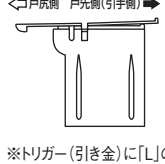
トリガー取付用治具使用方法

1



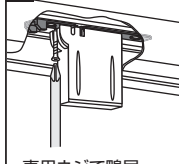
トリガー(引き金)を取付治具にセットする。

2



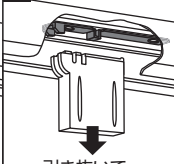
※トリガー(引き金)に「L」の印字が付いています。

3



専用ネジで鴨居レールに取り付ける。

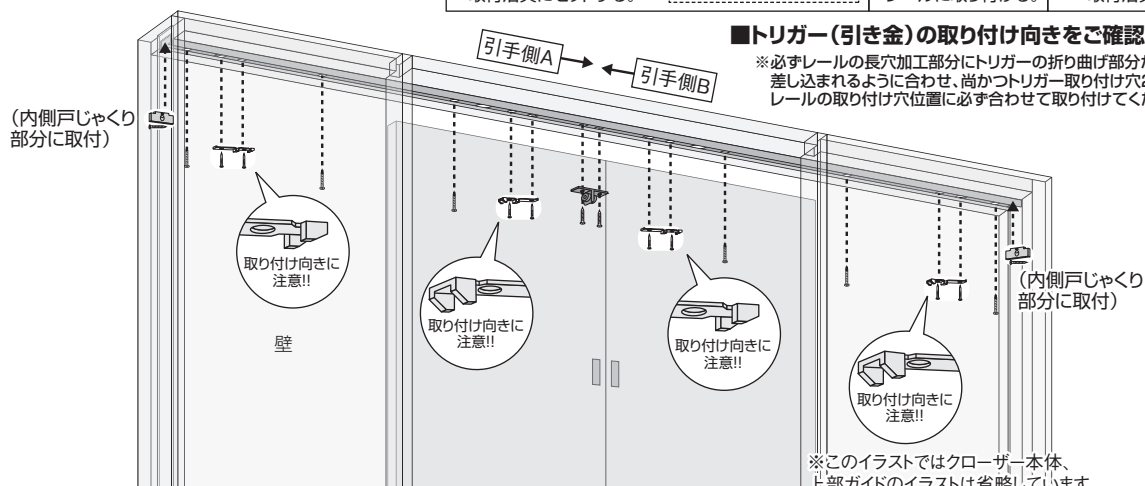
4



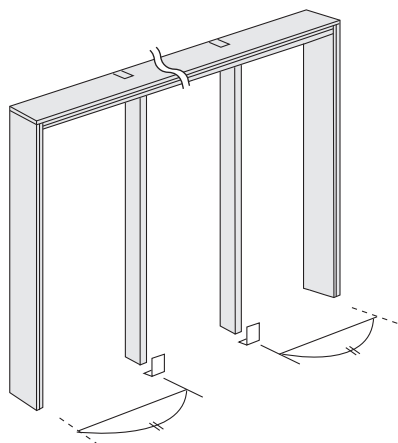
引き抜いて取付治具を外す。

■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

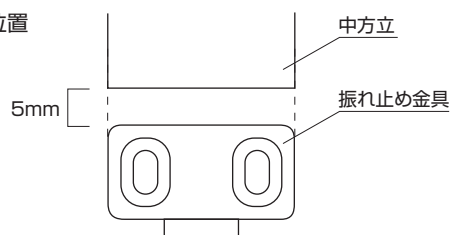
※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。



5 振れ止め金具の取り付け



振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローアに
固定してください。



施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

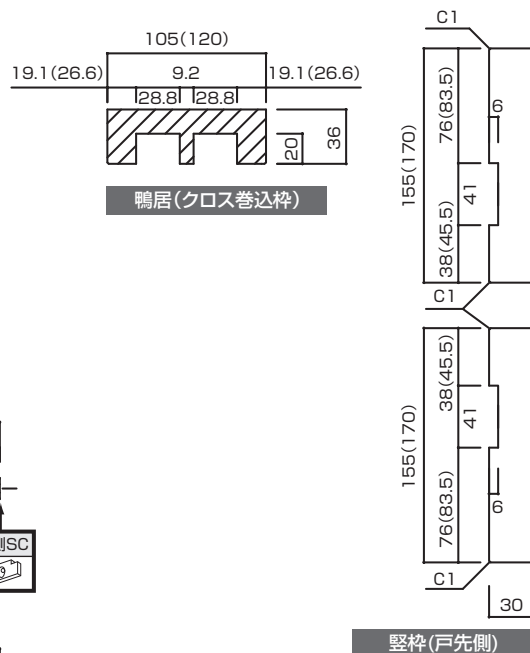
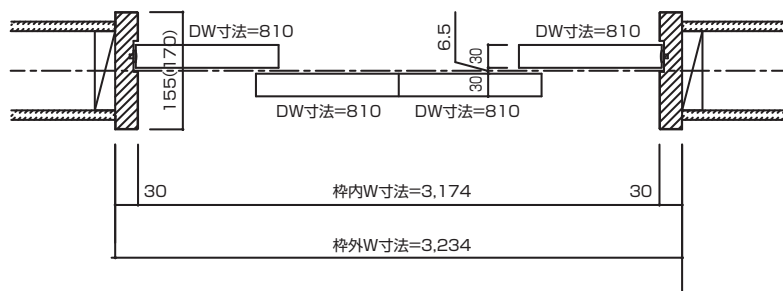
【4枚引き違い戸】納まり図

下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

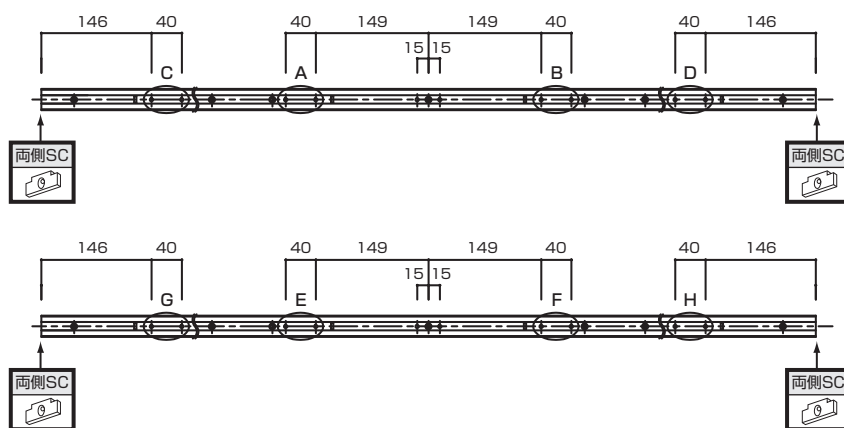
横断面図

(単位:mm)

■ 枠製品寸法と納まり図



■ レール詳細図

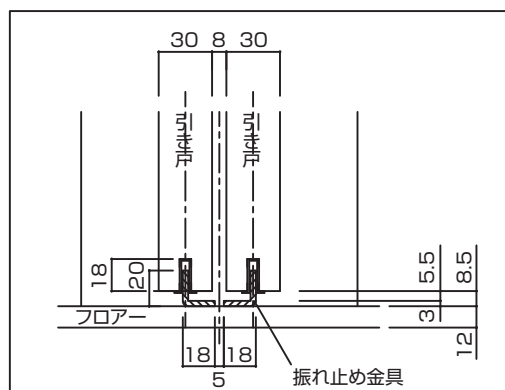
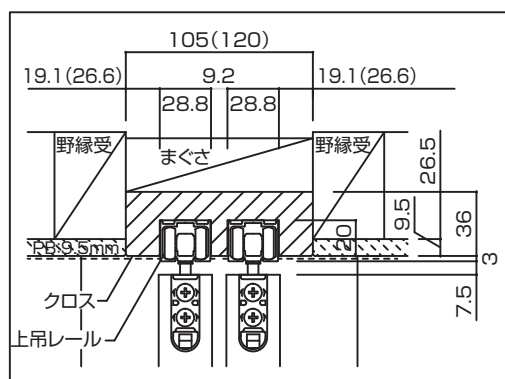
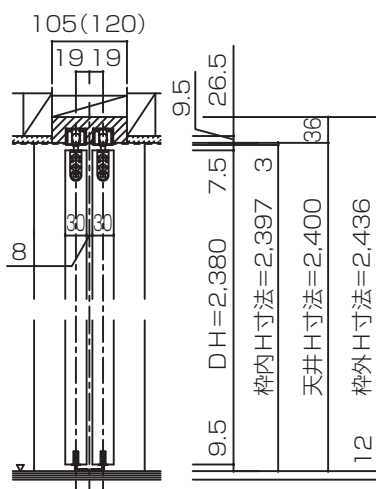


■ トリガー取り付け位置

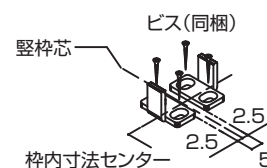


縦断面図

(単位:mm)



振れ止め金具(床付け用)の取り付け位置

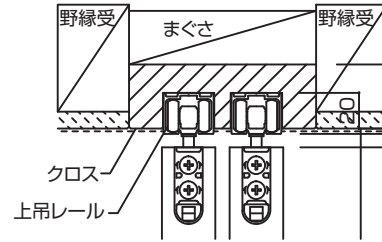
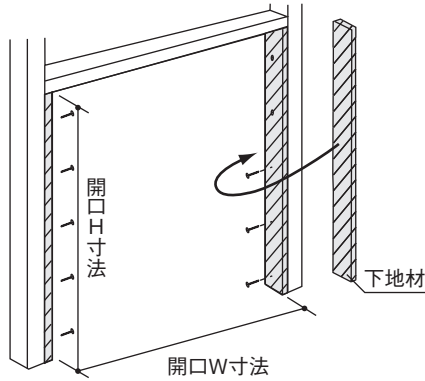


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。

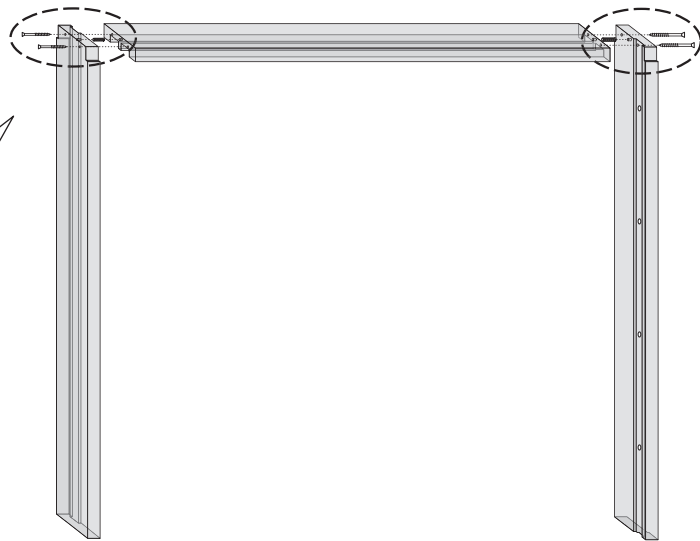
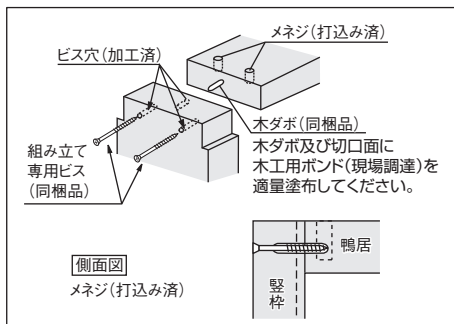


注意 扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

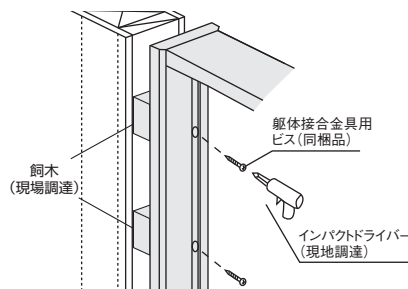
部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



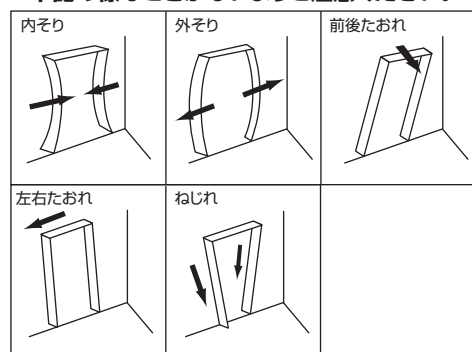
3 枠材の固定と建て付け調整

3方に組んだ枠材を開口部にセットしてください。

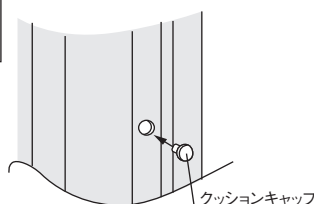
開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ねじれを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビス(同梱品)を縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。鴨居の固定は任意の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。



※ 下記の様なことがないようにご注意ください。

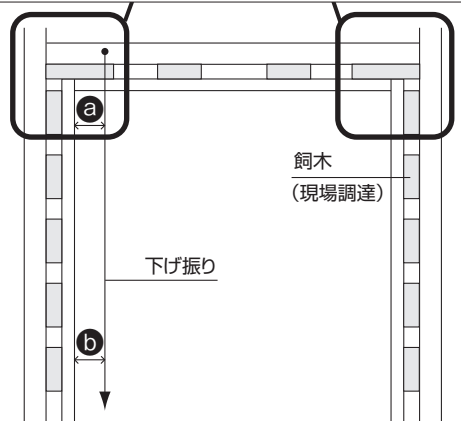


縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。



注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

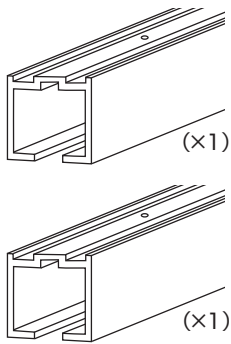


水準器などを使用し、a=bとなるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。

4 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■ 鴨居レールの取り付け

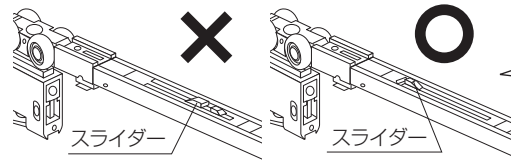


■ 吊車の挿入

鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。

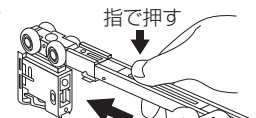
⚠ 注意

挿入前にスライダーの位置を確認してください。



スライダーが正しい位置にない場合

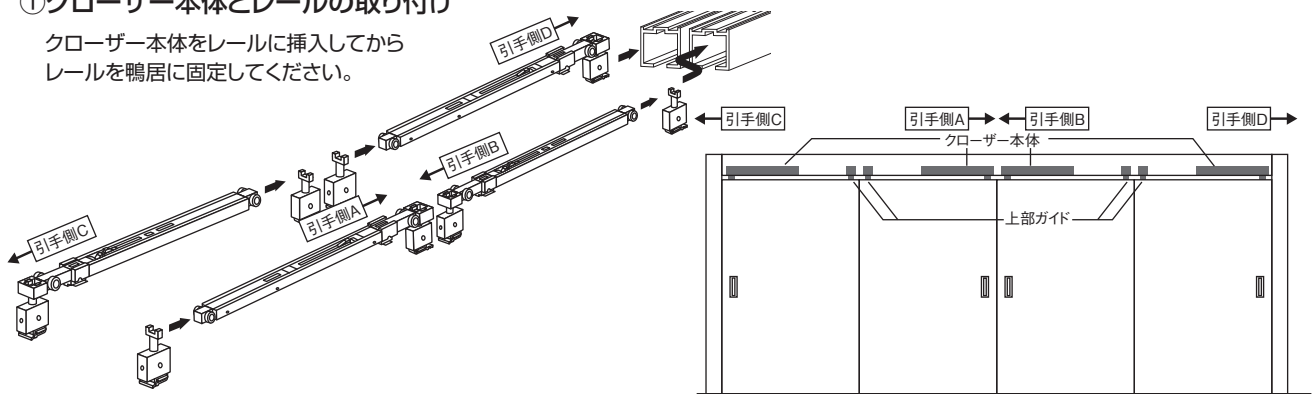
スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。



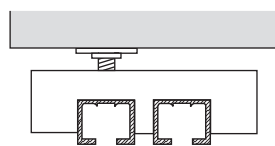
両側ソフトクローズ 仕様

① クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。



② 鴨居レールの取り付け



トリガー取付用治具使用方法

1



2

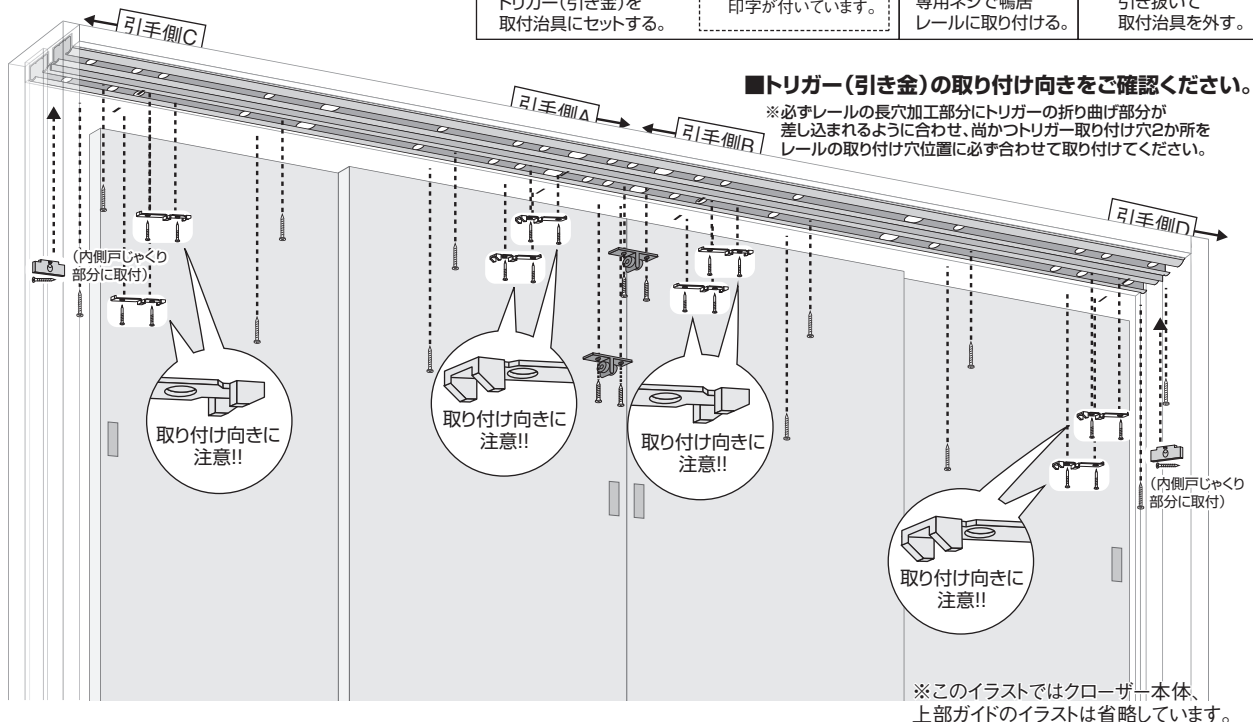


3



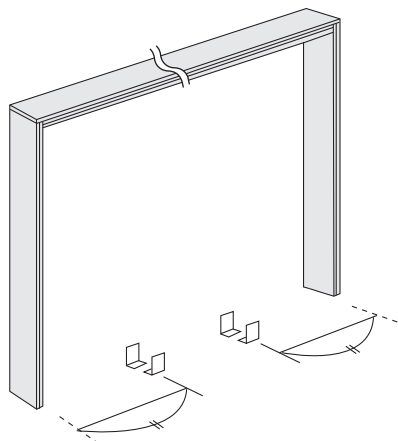
■ トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。

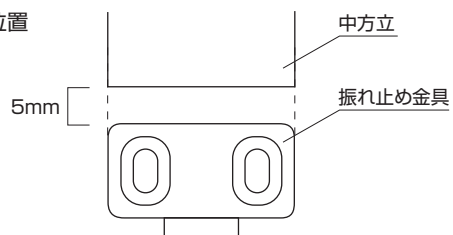


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

5 振れ止め金具の取り付け



振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローア-に
固定してください。



施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないよう保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようしてください。

お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。